

町政を問う!

一般質問

3月定例会では4人の議員が一般質問にたち、11項目にわたって理事者の考えをただしました。なお、質問と答弁は要約してあります。

TPP 阻止運動を 積極的に

木村好孝議員

TPP(環太平洋連携協定)参加が、農林水産業にとどまらず、暮らしや医療制度など広範な分野にわたり、重大な影響が及ぶ事実が明らかになるにつれて、阻止運動が全国的に広がっており、国民世論も変わりつつある。

町としての阻止運動の経過と、「町民大会」的な場を設定するなど積極的な取り組みが必要と考えるが、今後の進め方について伺う。

高薄町長

TPP交渉には断固反対であり、昨年から役場正面に懸垂幕等を設置し、町民に対して啓発活動を行っている。

今後も、反対運動をJAや関係団体と連携しながら継続していき、町民集会についても検討していきたい。

コミュニテイ バスの運行は

木村好孝議員

地域公共交通として、昨年12月から試験運行を行っている町内巡回バス

は、利用者数を伸ばし、町民にとって「町内移動をまかなう交通」として、高齢者・障害者支援という福祉面からも重要性が高いと考えられる。

本運行までの間、空白期間をおかず試験運行を継続すべきである。

また、利用者のバス停までの距離の問題等の改善点、障がい者や低所得者の方々に配慮した利用料金についての考えを伺う。

高薄町長

現在、運行に対する国からの補助の見通しがたっていない状況ではあるが、町としては交通弱者の足の確保という観点からも運行を継続していく考え

ている。運行経路など運行形態については、利用者の意見を参考にしながら、改善していく。

また、本運行時の乗車料金については、100円程度が望ましいと考えてはいるが、今後十分に検討していきたい。

子どもの 医療費の無料化

木村好孝議員

少子高齢化社会の急激な進行のなか、各地で子育て支援の取り組みが進められている。不況下で、子どもの貧困が社会問題化

するなかで、国の社会保障や福祉制度の後退が生活困難な状況に拍車をかけている。

子育てしやすい環境づくり、子育て支援の入り口は、まず子どもの生命と健康を守る「子どもの医療費の無料化」である。

「子どもの医療費を中学生まで通院も無料化」を実施することへの基本的な考えを伺う。

高薄町長

現在、就学前の子どもは入院・通院費を含めて無料となっており、小・中学生については入院費のみ無料化している。

中学生まで通院費も無料化にすると、新たに約1

700万円の経費がかかることになるため、平成23年度は財政の面から、実施は難しいと判断した。

平成24年度以降、財政計画を考慮しながら、中学生まで通院費の無料化を検討していきたい。



子育て支援として、子どもへの医療対策は重要。